

週報 南相馬ロータリークラブ



第 13 回 通算 507 回

2018 年 10 月 3 日（水）12:20～13:30

495th Program

ゲスト卓話「南相馬市の工業振興政策等について」

司会 SAA 青木謙二 会員
大谷和年 会長

南相馬市役所 商工労政課 神沢吉洋様



「会長の時間」

会長 大谷 和年

開会点鐘／国歌斉唱「君が代」／ロータリーソング「我等の生業」／「四つのテスト」唱和／お客様並びに来訪ロータリアン紹介／会長の時間／昼食／会員卓話／幹事報告／各委員会報告／出席報告／スマイルBOX報告／閉会点鐘



前回の夜間例会にてもお話ししましたが、今会長の時間にお話ししていることは、主に会の運営について話をしています。

会員には現在の状況を認識していただきたい。委員会の活性化を考え、委員会をグループ化しているが、グループの利点を活用している状況にはまだなっていない。委員長が一人で活動している委員会があるので、今後協力を要請していきます。特に、活発な活動を期待されている、会員増強拡大委員会、親睦委員会、社会奉仕委員会、青少年奉仕委員会の委員長さんとは毎月1回役員会の前にでも私と会合を持ちたいと考えていますのでご協力願いたい。またその他の委員長さんとも、会長及び役員との意思疎通を行いたいと思いますので積極的に申し出てください。後ほど時間設定の連絡をしたいと思いますが、例会の終了後か役員会の前が望ましいと思っています。

この前例会にても話をしてているが、11月4日にふくしま植樹祭があります。今回、南相馬

市鎮魂復興市民植樹祭との共同開催になっております。ロータリークラブとしては、「ふくしま植樹祭」に2530地区にて寄付をしている関係にて参加をしたいと思っております。これから参加者を募集しますのでご協力をお願いします。尚、奉仕プロジェクト委員会セミナーでも話がありましたが、ロータリアンのエリアを設定し、植樹を行うことになると思う。地区にも参加者人数を報告します。

先日、9月28日ドイツのコースフィールドRCからの寄贈により、我クラブ仲介によって、小高小学校にて植樹祭を行いました。

参加者は7名：大谷和年、岡田義則、酒井善盛、門馬純子、青木謙二、大内光一、堀内信夫会員でした。

「南相馬市による工業振興施策等について」

経済産業省 南相馬市役所出向

南相馬市経済部総括参事 兼 商工労政課企業誘致担当課長 兼 ロボット産業
推進担当課長 神沢 吉洋 氏

福島県南相馬市の工業振興に関する取り組み状況についてお話しします。南相馬市製造業の現状ですが、H20 年は、242 ありましたが、H23 年には、127 まで落ち込んでしまいました。H27 年には 157 でリーマンショックの直前までは戻ってきていないのが現状です。しかし、製造品出荷額だけは、リーマンショックよりも前に進んでいます。市内移住人口の震災時と現在を比較しますと、生産年齢人口は H23 年が 43,263 人、H29 年は 30,193 人まで落ち込みました。南相馬市の生産年齢のピークは、60～70 代がピークです。今後は、全国的にもそうですが人口は減少してきています。南相馬市の現在の立ち位置、政策資源の投入状況は、震災直後から市民一丸となった努力の結果、確実に復旧・復興に向けた歩みが進んでいる状況。しかし、震災等を起因とし、コミュニティが破壊された結果、小高区等の避難指示区域において、生産年齢人口減少の加速が顕在化したと言わざる得ない状況で市では、「南相馬市復興総合計画 みんなでつくる輝きとやすらぎのまち南相馬～復興から発展へ～」を策定。地場産業のポテンシャルを生かした取組支援、新たな企業誘致に資する工業団地等インフラ設備、経済に新たな活力を生み出す創業支援等商工業再生に向けた取組を明記しています。

市だけではなく、国と一体となって、福島復興特別措置や福島イノベーション・コースト構想等に基づき、国、県等関係者との連携を強化中です。平成 28 年には、市が整備中の復興工業団地に国・県が整備する福島ロボットテストフィールド等の設置が決定しました。達成しようとする時に皆がバラバラに力を使っているのは、なかなか進まない同じタイミングで同じ方向をむいて力を合わせることが大きな力になります。その方向性を決める為に「福島イノベーション・コースト構想」を計画しました。福島イノベーション・コースト構想とは、2020 年を当面の目標として、浜通りが新たな産業革命の地となり、福試験全体の復興、強いては日本の地域再生のモデルとなることを目指すものです。2020 年に向けて、福島県浜通り地域に新しい産業を創出する国家プロジェクト。

ロボット・ドローンの研究開発プロジェクトが多数進行中です。モノづくりをしている地元の企業も関わってきています。



平成 28 年には、福島ロボットテストフィールド設置決定しました。平成 29 年 1 月に完全自律制御飛行の回転翼ドローンによる長距離荷物配送の実証試験が南相馬市で行われ世界発の実証試験に成功しました。全国でニュースになり、アメリカやイギリスでも放送されました。また、日本郵便が日本初陸上配送ロボットによる無人配送実証にも成功しました。日本郵便は人口減少の対策として物流をしっかりと確保する為の試みを南相馬市で行っています。そこで、ロボットのまち南相馬を実現すべく南相馬ロボット振興ビジョンを策定しました。

1.ロボット人材輩出のまち 2.ロボット技術革新のまち 3.ロボット産業集積のまち 4.ロボットベンチャー輩出のまち 5.日本の競争力の源泉、ロボット教育先進のまち 6.世界一のロボットの実証・チャレンジがしやすく、ロボットが日常に溶け込んだまち 7.ロボットを活用したツーリズム・スポーツのフロンティア

南相馬市ロボット関連の取り組みによって交流人口の増加がみられ注目されつつあります。H30.3 月には、安倍内閣総理大臣が地元ものづくり企業によるロボット実用化開発の企業を視察しました。また、ものづくりだけではなく、復興土木事業での生産性革命を行っています。地元中小建設企業による ICT を活用。ICT の活用によって、人手不足の解消・安全性の向上・生産性の向上を目指します。そして市では、地元消防団によるドローンを活用した危機管理強化に努めています。教育分野でもロボット・ドローン教室を開催しました。2020 年オリンピックの年に、ロボット国際大会を開催しようというお話があります。未来に向

けた挑戦として WRS チャレンジトライアルの開催をしました。地域の祭りを通じた市民とロボットの触れ合いなどをおこなっています。福島イノベ構想・第四次産業革命の先端技術を取りこんだ持続的成長の為に、「人」を大切にする浜通り南相馬商工振興戦略 2018 を策定しました。

1.ロボット産業等福島イノベ重点分野と連動した機械と場による、技術革新、工業団地整備・企業誘致を加速するとともに 2.社会の動きを見極め連動することが可能な多様な人材を育成・確保し活

躍を促す人づくりに関する取り組みや 3.老朽化が進む設備を生産性の高い設備へと一新させ、中小企業自身の労働生産性の飛躍的な工場を促し、4.事業承継前後のシームレスなきめ細かい支援 5.企業と企業をつなぎイノベーションや創業を促す取組の 5 本の柱を展開し、持続的成長が可能な復興を成し遂げるとともに、地方創生のモデルとなることを目指します。その為には皆様との緊密な連携は必要不可欠です。皆様と膝を交えてお話しさせていただくことがスタートだと思っています。

「10月の誕生祝福 Happy Birthday♪」



荒明健 会員 8 日/佐久間岩男 会員 13 日/酒井善盛パストガバナー18 日/関哲 会員 29 日/門馬純子 会員 11 日
大谷会長の直筆のカードが手渡しされました。

「Lunch time 一分間スピーチ」

長澤 初男 会員



2020 年東京オリンピックでは、福島市あづま球場で野球・ソフトボールの試合が開催されます。試合を何試合するのが焦点でした。野球は 3 試合、ソフトは 1 試合という状況でした。先月、組織委員長会長の森喜朗氏が球場の視察に来ました。その際、ソフトボールは、短い時間で消化できるので試合を数試合していただきたいと要請をしました。その結果、ソフトボールは 6 チーム、6 試合

を行う予定になりました。非常に残念なのですが、野球は 1 試合になってしまいました。世界野球ソフトボール連盟フラッカリ会長は、あづま球場を問題視していましたが、福島の復興の為にとあづま球場に決まりました。

森会長は、地方球場としては立派であると褒めて頂きました。来月から来年の 9 月頃まで球場の大規模な改修工事が始まります。あづま球場を盛り上げて多くの方に来ていただきたいと思います、そのことが、ふくしまの復興、スポーツの振興につながると思います。又、大会運営に携わる大会ボランティアも募集しますので宜しくお願い致します。

「幹事報告」

- 2017-18 年度ガバナーより 2017-18 年度地区決算書 が届いています。●米山記念奨学会より 2017-18 年度事業報告書が届いています。●ロータリー米山記念奨学事業豆辞典配布します。
- 9月27日に行われました。小高小学校の植樹祭の事が小高4区小学校のHPに掲載されました。

「各委員会報告」

- 社会奉仕委員長 佐久間会員より9月の資源源ゴミ回収報告がありました。●青少年奉仕委員長 岡田会員が明日インターアクトの件で相馬農業高等学校へ訪問します。●酒井パストガバナーより11月4日の植樹祭は地区の記念事業ですとの報告がありました。

<<<今週のご寄付 2018年10月3日>>>

| | | |
|-------------|------------|--------------|
| ■ ロータリー財団 | 計 ¥9,000. | 累計 ¥98,000. |
| ■ 米山奨学会 | 計 ¥7,000. | 累計 ¥86,000. |
| ■スマイルBOX 報告 | 計 ¥13,000. | 累計 ¥184,500. |

| | | |
|-------|-------|-------------------|
| 青木謙二 | 1,000 | 神沢様卓話ありがとうございます。 |
| 青田真 | 1,000 | 神沢様卓話ありがとうございます。 |
| 大内光一 | 1,000 | |
| 岡田義則 | 1,000 | 神沢様卓話ありがとうございます。 |
| 小澤積 | 1,000 | ご苦労様でした。 |
| 佐久間岩男 | 1,000 | |
| 長澤初男 | 1,000 | 神沢さんの卓話に感謝して！ |
| 野口美佐子 | 1,000 | 神沢様卓話ありがとうございます。 |
| 野地庄蔵 | 1,000 | |
| 三浦宏美 | 1,000 | 神沢様ご来訪ありがとうございます。 |
| 宮城住夫 | 1,000 | |
| 門馬純子 | 1,000 | |
| 山田実 | 1,000 | |

(円)

出席報告 : 会員数29名 出席数16名 出席率55%

南相馬ロータリークラブ Since. 2007

会長：大谷 和年 / 幹事：岡田義則

例会日：毎水曜日 12:30～13:30

例会場：ウエディングパーク 原町フローラ 南相馬市原町区高見町2丁目30-6

事務局：南相馬市原町区錦町2丁目68-6

TEL 0244-23-1268 FAX 0244-26-5935

HP <http://www.minamisoma-rc.org/> E-mail minamisomarc@white.plala.or.jp

